



倶登山川水系イトウ産卵観察記

オビラメ復活30年計画に基づいて、2004年秋から数次にわたるイトウ稚魚放流と、既存の落差工5基への魚道設置を実施してきた倶登山川に、この春も放流イトウたちが回帰してきました。



写真と文 藤原弘昭 オビラメの会

4月17日 まだ早すぎるのは分かっているが様子を見に行く。この辺りはかなりの残雪。

4月21日 前日、別の支流に天然イトウの遡上確認。この沢はどうか？ 融雪増水が始まり、笹濁りで水量は前回の5割増しといっ

たところ。

4月23日 融雪はかなり進んでいるが川縁の雪はまだ多い。午前6時の水温 3.4℃。

4月30日 雪は川縁に残っている程度。畑にヒグマの足跡あり。昨年のビート残渣を爪で掘り起こし食べている模様。午前7時の水温 4.6℃。

5月4日 川縁の雪はほぼ消えた。水量は落ち着き水色もクリア。オスのイトウ1尾を今季初確認。昨年より赤色が濃く見える。午前

7時30分の水温 5.6℃。

5月5日 前夜雨だったが水量は昨日とほぼ変わらず水色もクリア。オス1尾確認。午前10時の水温 7.4℃。

5月6日 水位約10cm低下。イトウは確認できず。午前7時30分の水温 5.4℃。

5月7日 イトウ確認できず。不安な気持ちになる。午前6時30分の水温 4.4℃。

5月8日 水温チェックポイントの水位はここ2、3日で20cm

2003年	野生親魚(デカ)から採卵に初成功。稚魚50匹孵化。
2004年	デカから再び採卵成功。倶登山川水系にイトウ稚魚初放流。
2005年	2度目の稚魚放流。
2007年	飼育親魚(ノリカ)から初めて採卵成功。3度目の稚魚放流。
2008年	落差工改修開始(全5基)。4度目の稚魚放流。
2009年	1～3、5号落差工魚道付設。
2010年	4号落差工に魚道付設。
2012年	再導入イトウの産卵行動、自然繁殖を初確認。飼育下系統保存に初成功。
2013年	再導入イトウの産卵行動を確認。
2014年	再導入イトウの産卵行動を確認。5度目の稚魚放流。
2015年	再導入イトウの産卵行動(4年連続)を確認。

倶登山川オビラメ再導入(補充)実験の経過



くらい下がった。産卵区間の上流部に先日のイトウより赤が濃いオスを確認。午前6時30分の水温4.5°C。

5月9日 ついにXデーがやってきた。5月4日から毎日調査に来ているが、「このままメスが遡上しないのか？」と不安な気持ちが募るばかりだった。いつもどおり枝沢合流部から産卵区間上流端を目指し、じっくりと流れを見つめながら歩く。そして、100mほど歩いた時、不意を突かれるかたちで魚体が目に飛び込んできた。約80cmのメスだ。草木のカバーが無く、オープンなエリアに独り佇んでいる。

オスはどこだ？ 急いで上流を探しに行くと、程なくして約65cmのペアを発見。産卵床を

掘っている（ディギング）。だがすぐに泥岩が出てきたためメスが新たな場所を探して移動した。とりあえず急いで産卵区間上流端まで確認したところ他にイトウは居なかったため、80cmメスポイントまで戻る。するとさっきのメスにオスが寄り添っておりディギングの最中。リュックからビデオと三脚を出して撮影開始。その横でカメラを構える。約80cmのペアを見ると、よくぞこんなに立派になって戻ってきたなあ〜と感慨深くなる。

2尾ともアブラビレと左腹びれがカットされているため、2004年生まれで2005年春に放流した個体だ。オスはしきりにメスの上を左右に跨ぐ行為（クロスオーバー）を繰り返し、時折激しく体を震わせて（クイバリング）産卵

を促している様子。そして思ったより早くメスが口を開け、ほぼ同時にオスも大きく口を開けた。産卵・放精の瞬間だ。その間7〜8秒ほど。すぐにメスがスーッと前に出て軽くヒラヒラと埋め始める（カバーリング）。左右交互にカバーリングを繰り返して独特の産卵床の形が

作られていくのだ。

頃合いを見て上流の65cmペアを捜しに行った。おそらくあそこだろうと目星を付けて行くと、まさにそこにいた。ディギングの最中だ。こちらは笹藪の影になっており撮影には向かない。そこにメンバーの山根さんが到着し、2人で観察した。

このペアはどちらもアブラビレのみカットされているため2004年秋放流とも考えられるが、サイズから推定して2007年生まれの個体ではないだろうか。無事に2ペアの産卵を見とどけ、満たされた気持ちで現場をあとにした。午前6時30分の水温5.1°C。

5月10日 「今日も産卵観察♪」と期待して現地に着くと怪しい車&人影が。よく見ると、南富良野から駆けつけたメンバーの大光明さんだった。期待に反し、川には1尾のイトウも見あたらない。2人で産卵床の調査を行った結果、産卵床は6カ所。1カ所に複数産卵している場合があり、産卵回数は9回または10回と推定できた。（後日、メンバーの川村さんによる調査では産卵床は7箇所という報告あり）午前6時30分の水温5.7°C。

5月11日 イトウは確認できず。この沢はたった1日（あるいは1日半）のXデーを逃すと産卵観察ができないと考えられる。午前6時15分の水温4.5°C。



2015シーズン

尻別イトウ「見まもり隊」の31日

記録 大石剛司 オビラメの会

2015年4月19日から1カ月間にわたったオビラメの会「見まもり隊」活動。中核を担った大石剛司さんがつづった活動日誌を丸ごと収録します。★は雄イトウ、☆は雌イトウの確認数を表しています。

4/19 (日) 晴

12:00 大石IN。水は茶色の状態。
18:00 ★0☆0。去年より雪は少ない感じ。水量も少ない。にごりは少々。泊まり:大石。

4/20 (月) 曇 ★★

05:25 大石IN。気温4℃、水温3℃。
05:55 バシャという音がして、川を見たら赤い魚体を確認。今年最初の遡上確認。ハウス側の笹の中央より上流側。
06:11 別の橙色の魚体を発見。下流から橙色が赤色に接近しバトルを開始した。動画に収録した。
07:25 藤原IN。★2を確認。90cm位。藤原OUT。
09:50 2とも笹の下流に移動。
11:00 雨、風が強い。
14:00 吉岡IN。差し入れ、現金、腕章を受け取り。
15:00 吉岡OUT。
17:00 ★1。泊まり:大石。

4/21 (火) 曇

昨日の雨は3:00くらいに止んだ。
05:40 気温6℃、水温3℃。濁りは少々。発見0。
07:50 川村IN。発見0。
12:50 晴れになる。笹ににごり。
13:30 にごり強。
14:20 吉岡IN



15:00 吉岡OUT。
15:20 川村OUT。
17:00 気温6℃、水温4℃。にごり小。発見0。
19:00 農家の話好きのおじいちゃん。泊まり:大石

4/22 (水) 晴 ★

05:40 気温6℃、水温4℃。にごり無し。
06:00 養鶏場のおじいちゃんの散歩。発見無しとのこと。
06:11 ハウス側の水門の上流20m。★1。水門にいたが下流に移動した。
06:20 ハウス側の笹の最下流。★1。
06:25 軽のお兄さん。
09:00 クトサン本流。気温9℃、水温4℃。
10:00 にごり中。発見0。
12:00 にごり中。気温15℃、水温6℃。
17:40 にごり小。発見0。気温14℃、水温4℃。
18:00 藤原IN、藤原OUT。泊まり:大石

4/23 (木) 晴 ★★

05:30 気温1℃、水温3℃。にごり無し。霜がおりていた。発見0。
06:45 養鶏場側水門の反対側に★(赤)1。軽の兄さん。養鶏場のおじいちゃん。
08:00 川村IN。★1。
09:00 足立IN。★2。
10:00 にごり中。
13:00 マーカー設置。このマークは下流に向かって左岸の土手(養鶏場側)に設置。マークの開始は堰堤の段差で、L1と記述したピンクのテープを設置。マークは20m毎に設置し、L1からL20



まで設置。L20は左岸の水門の15m下流になる。

15:00 足立OUT。
17:00 川村OUT。
17:15 気温13℃、水温4℃。にごり小。発見0。泊まり:大石

4/24 (金) 曇 ★★★★★ 見学1組2名

05:40 気温11℃、水温4℃。風強い。L9下3m左岸★(赤)1。L11上8m左岸★(橙)1。
06:20 軽の兄さん。L20下★1。
06:30 藤原IN。
07:00 藤原OUT。
08:15 L9上3m左岸★(赤)1。L12下3.6m左岸★(赤)1。L19下3.6m左岸★(橙)1。L11L12で小バトル各1回。
10:30 にごり入る。
11:00 菅原IN。ハウス設置の下見。菅原OUT。
16:00 見学者2名。70歳の男性。65歳の女性。
17:00 気温12℃、水温4℃。にごり小。発見0。
21:30 山根IN。星が綺麗に見える程の晴れた夜空。泊まり:大石、山根。



4/25 (土) 晴 ★★ 見学2組2名

05:30 山根 L15-L16★1。
L19上3m★1。霜が降りている。寒い。
06:00 気温2°C、水温3°C。大石L19
下6.3m左岸★(赤)1。
07:00 軽の兄さん。
08:15 大石発見0。橋の上流も見た。
12:10 気温14°C、水温6°C。にぎり
小。
12:30 見学者、地元の名2名。
15:00 L12下3.6m左岸★1。
16:30 山根発見0。にぎり小。
17:00 山根OUT。泊まり:大石

4/26 (日) 晴 ★★★★★☆☆ 見学2組3名

04:30 坂田IN。
05:50 気温6°C、水温3°C。にぎり無。
06:37 L13下3.6m中★2☆☆2。
L12-L13で移動。
08:00 山根IN、川村IN。気温15°C、水
温4°C。
08:30 吉岡IN
09:15 堰堤下★1☆☆1。
10:00 吉岡OUT。
11:20 堰堤の上に移動。
11:30 堰堤下に大型★(1m弱)。すぐ
下に小型★。大石OUT。
11:40 見学者2名。にぎり強。この時
点で★4、☆☆2。

15:00 見学者(苦小牧)1名。
15:45 橋上流曲がり角のフチでペ
ア。掘行動中。
17:00 山根OUT。
17:35 行動中止して上流へ。泊まり:
坂田、川村

4/27 (月) 晴 ★★★★★☆☆

06:10 L14上5m右岸★1。
06:35 気温13.1°C、水温4.7°C。
07:10 L5-L6左岸★1移動中。
07:25 L14上5m★1。☆☆1もいる
(坂田)。
07:40 L9上5m左岸★1。
08:20 小にぎり入る。
10:00 坂田OUT。
10:30 気温22°C、水温6°C。
12:00 にぎり大。
13:30 ハウス設置。吉岡、ニセコファ
イン2名、菅原組2名、川村、大石。
16:00 菅原IN。ハウス設置状況の確
認。菅原OUT。
17:00 川村OUT。泊まり:大石

4/28 (火) 曇のち晴 ★☆☆ 見学2組6名

05:00 気温8°C、水温3°C。大石
発見0。上流の沢から泥水の流入あり。
右岸のにぎり中、左岸のにぎり小。
08:00 川村IN。
09:00 草島IN。川村L11-L12左岸
★1。
09:13 倶知安町役場から2名。
10:00 風土館6名。L18下★1(岡
崎)。
11:00 見学者1名。去年は子供と来
てバトルが見れた。
11:00 大石★1。
13:26 水温5°C。
15:00 藤原OUT。吉岡IN。
15:30 草島、吉岡OUT。
16:20 土木現業所1名。
17:15 気温16°C、水温4°C。にぎり
小。発見0。泊まり:川村、大石。

4/29 (水) 晴 ★★★★★☆☆ 見学4組11名

05:00 気温6°C、水温4°C。L5-L6左
岸★2(1m強、1m弱)。L10-L11左岸
★1(1m)。
06:00 右岸、発見0。

08:00 見学者2名。昨日来た名。
08:15 L19-L20左岸★2。L20下
24m左岸★1。
08:45 草島IN。
09:00 見学者2名。去年も来た。
09:35 L10-L11★1。
10:00 足立IN。
11:00 平田IN。
11:40 L2下3m中央★1、☆☆1。
12:25 L10m右岸★1、☆☆1。
12:30 L1上10m右岸★1。堰堤上に
★1が移動。☆☆は見えない。
16:00 草島、吉岡、足立、平田OUT。
17:30 見学者2組7名(2家族)小樽
などから。泊まり:川村、大石

4/30 (木) 晴 ★★☆☆ 見学1組2名

05:50 気温8°C、水温4°C。L2下3m
中央★。
08:40 草島IN。
09:15 見学者2名。
09:30 L5左岸→L2中★。L18右岸
★。
10:40 L2下3m中★☆☆。
11:10 ★(赤)堰堤上、☆☆堰堤下。★
(橙)堰堤下。★堰堤上、☆☆堰堤下。
11:40 ★下がる→L2の下に定位。★
堰堤上の更に上へ。☆☆堰堤下にとどま
る。★下がった。★が更に下がる。
12:05 ☆堰堤下にとどまる。
13:00 気温20°C、水温7°C。★:L2の
下に定位。草島OUT。
16:00 気温14°C、水温6°C。泊まり:
川村、大石

05/01 (金) 晴 ★★★★★☆☆ 見学1組23名

06:00 L12上5m★1。にぎり無。水
量多いが前日より5cm低い。
06:59 L9下9m左岸★1、☆☆1。
07:50 L13★1。L15★1。
08:00 見学者1名、地元の名。
08:15 L2下3m中★1。
08:35 L2下3m中☆☆1。
08:50 バトル ★2、☆☆1。草島IN。
09:01 堰堤上★(橙)1。堰堤下★
(赤)1、☆☆1。
09:05 堰堤下の★(赤)が上に移動。
バトル。★(橙)が下に移動。
09:42 ★(橙)が堰堤上に移動。パト

ロールの後、★が堰堤下へ移動。
 10:03 ☆が堰堤上へ移動。
 10:50 坂田+学生20名+先生3名。
 橋の上から見学。右岸に★1、左岸の☆
 1。川村、草島が説明。
 11:50 左岸を見学L6中央★1。L14
 上5m右岸★1。
 13:34 上流(民家の下?)の淵の左岸
 に☆1。
 13:47 淵に入っていった。
 14:00 草島、川村OUT。
 14:44 気温18°C、水温6°C。にぎり小
 15:00 L2下5m中央★1。吉岡IN。
 16:00 にぎり中。吉岡OUT。
 17:20 発見0。気温14°C、水温4°C、
 水量多い。
 21:00 山根IN。泊まり:山根、大石

05/02 (土) 晴 ★★★☆ 見学 3組5名

05:00 発見0。
 06:02 気温6°C、水温4°C。にぎり無。
 水量は昨夕より5cm低下。L20
 下0m右岸★(赤)1。L5下10m右★(赤)
 1。L2下5m中央★(橙)1。
 07:30 見学者1名。
 08:00 岩瀬+2名で河川の測量を実
 施。
 08:30 草島IN。
 10:23 L20右岸★1。
 10:30 L9-L10右岸★1。L9左岸★
 1、☆1。
 11:50 L9下右岸★1、☆1。掘り行動
 のみ。
 12:00 藤盛夫妻、坂田IN。藤盛夫妻
 OUT。
 12:02 L2下から堰堤上へ★3。2は堰
 堤上に移動。
 13:00 気温22°C、水温8°C。
 13:07 見学者2名。★を見れた。
 13:30 にぎり小。
 13:36 見学者2名。見れなかった。
 14:00 大石OUT。
 16:00 草島OUT。泊まり:山根、川
 村、坂田

05/03 (日) 晴 ★★★☆ 見学 2組12名

05:30 気温6.7°C、水温4.3°C
 05:30 ★2。
 07:00 ★3。草島IN。

08:30 見学者2名。見れた。
 10:00 L9下7m産卵。大石IN。
 10:40 堰堤下★2。
 10:57 ★1が堰堤上へ。
 11:09 ★1が堰堤上へ。
 12:29 L9下9m右岸から1m★1、☆
 1。埋め動作。
 12:46 見学者10名(北水研)。
 15:00 吉岡IN。
 16:20 吉岡、草島OUT。
 16:30 気温23°C、水温6°C。にぎり
 少々。
 17:00 坂田、山根OUT。泊まり:川
 村、大石

05/04 (月) 晴 ★★★☆

06:44 気温10°C、水温4°C。L10上
 10m上流に★1。右岸に★1、☆1。左岸
 に★1。
 07:38 掘り行動を2回。草島IN。
 09:22 L12下3m右岸★1、☆1掘り
 行動。
 10:30 大串IN
 11:30 ★2。
 12:40 L20下20m左岸★1。
 13:00 L13右岸★1。L12左岸★1。
 14:17 L2下5m★1。
 14:34 気温14°C、水温6°C。
 15:00 藤原IN。雨が降り始める。寒く
 なる。
 15:40 草島OUT。
 18:40 大串OUT。泊まり:
 藤原、川村、大石

05/05 (火) 曇→晴 ★ ★ 見学者2組3名

06:30 気温9.0°C、水温
 4.0°C。
 09:00 気温14.6°C、水温
 5.1°C。
 10:00 足立IN。にぎり中→

小。水量やや多い。
 10:30 見学者2名。足立★2。
 11:35 気温19.1°C、水温6.1°C。L2下
 流★1。
 12:20 沼田IN
 14:00 沼田OUT。
 15:25 足立OUT。
 16:10 見学者1名。藤原IN
 16:00 藤原★2。
 16:37 気温17°C、水温6°C。
 23:00 鎌田IN。泊まり:鎌田、藤原、川
 村、大石

05/06 (水) 晴 ★★ 見学3組 12名

05:00 藤盛IN。
 06:20 気温12°C、水温5°C
 07:30 軽の兄さん。
 10:00 L2-L13を移動★2。
 10:30 見学者7名。
 11:30 見学者2名。
 13:30 にぎり少々。
 14:30 見学者3名。
 15:00 吉岡IN
 16:00 吉岡OUT。にぎり無くなっ
 た。鎌田、藤盛、藤原OUT。泊まり:川村、
 大石



**05/07 (木) 晴 ★★★★★ 見学
3組7名**

06:05 気温8°C、水温4°C。にごり無し、水量小。左岸笹と左岸水門の中間★1。左岸水門の下★1。右岸水門と合流の中間★1。合流★1。
07:00 山根IN
07:30 軽の兄さん。草島IN。クトサン支流発見0。
09:00 足立IN+1名。
10:30 足立OUT。発見0。
12:00 見学1名。
14:00 大石クトサンのパトロール。本流で★1。
14:30 山根家族4名見学。★1が堰堤下で見れた。
15:00 吉岡IN。
15:30 吉岡OUT。見学者2名★1。
17:00 草島OUT。
17:20 川村OUT。泊まり：山根、大石

**05/08 (金) 曇 ★★★ 見学2
組4名**

05:30 L19★1。L20下5m★1。
06:00 気温5°C、水温4°C。左岸水門下★1。左岸水門と右岸水門の中間★1。草島IN
09:03 左岸水門下★1。左岸水門と右岸水門の中間★1。
09:32 右岸の笹の下流★3。★2でバトル→1は下流へ別の★が上流より→バトル。
10:00 山根クトサンパトロール。支流の二面護岸の区間で★3、70cm位1と60cm位2。支流が合流する付近の本流で60cm位★1。計4★確認。他に50cm弱イトウと思われる魚影2。
11:00 草島★2。
12:00 L2下5m★2。
14:00 L12上3m左岸★1が移動。
14:15 見学者2名。
16:00 草島OUT。
16:30 見学者2名。
18:00 雨が降ってきた。
18:40 雨が止んだ。泊まり：山根、大石

**05/09 (土) 曇 ★★ 見学5組
12名**

02:30 坂田IN。
04:50 ★1。L14★1。

06:10 気温10°C、水温5°C。L14上6m右岸★1。藤原、足立、草島IN。

09:18 見学者4名。L14上6m右岸★1。
09:50 見学者4名。L14上6m右岸★1。昼食は野外でテンプラ。美味しかったです。ウド、タラの芽、えび、アスパラ、ギョウジャニンニク。
12:00 見学者3名。L14上6m右岸★1。
12:10 見学者1名。L14上6m右岸★1。
14:29 L2下中央★1。吉岡IN
14:44 L4別の★1。★2のうち★1が堰堤上へ。
15:00 大石OUT。

16:30 藤原、足立、草島OUT、吉岡OUT。※藤原クトサン支流でペア2組。産卵の動画あり。山根OUT。泊まり：川村、坂田

**05/10 (日) 曇 ★★ 見学4組
5名**

06:00 気温6.8°C、水温4.9°C。L14★1。合流★1。
07:00 藤盛IN。
08:00 見学者1名。
08:30 草島IN。
09:10 藤原、大光明IN。「尻別川本流で40cm位のイトウが釣れていた」との情報。
09:50 大石IN
11:00 山根IN、大光明OUT。
11:51 L14上9m★1。
13:00 見学者1名。
15:00 吉岡IN
16:00 草島、吉岡OUT。
16:49 見学者2名。川村、山根、藤原、坂田OUT。泊まり：大石

**2014/05/11 (月) 晴 ★ 見
学3組3名**

06:02 気温6.8°C、水温4.9°C。
06:30 藤盛IN



07:00 発見0。
07:20 軽の兄さん。藤原「クトサン支流は異常なし」。
08:00 山根IN
08:40 草島IN
09:15 L14上12m右岸★1 (95cm?)。
09:30 足立IN、クトサン支流へ。
12:00 草島OUT。
13:00 見学者1名。足立「クトサン支流の産卵床は4」。
13:30 吉岡IN、見学者2名。
14:20 吉岡OUT。
15:45 L9右岸★1。
16:40 見学者2名+犬1。キツネが全力で逃げていった。
17:10 見学者1名。山根OUT。
17:30 藤盛、足立OUT。
18:10 気温13°C、水温5.5°C。泊まり：大石

**05/12 (火) 曇 ★ 見学1組1
名**

06:00 気温8°C、水温4°C。
06:20 合流口で★1。支流にいたが本流に戻った。
07:10 L14上12m右岸★1。
08:30 草島、山根、藤盛IN。



大石さん、細やかな報告をありがとうございます。長い間の見守り活動、心入ります。「見守り」から解放され、「少し気が抜けた」と言われていました。その言葉を、私はきっと忘れることなく、これから心に留めてオピラメ保護に努めていきたい、そう思っています。また、この日のために大阪より来てくれた玉井さん、北海道の釣りを思う存分楽しんで帰って下さい。いつも協力してくださるみなさま、ありがとう。大きな感謝です。

オピラメの会事務局長 吉岡俊彦

2015年4-5月 見まもり隊 活動集計

10:50 見学者1名。クトサン支流★
1、☆らしき1。★が☆に近づくとも☆が逃げる。
14:45 見学者1 (生物多様性協議会事務局)差し入れとパネルの返却。
15:14 クトサン支流水温7°C。堰堤の★が下がる。
16:00 草島OUT。雨が降る。
17:00 山根、藤盛OUT。泊まり:大石

05/13 (水) 曇時々雨 見学1組1名

06:00 発見0。
06:10 気温13°C、水温5°C。にごり小。水量少し多い。
07:20 川村IN
08:00 農家のおじさん。
10:00 見学者1名。
11:30 発見0。
13:00 川村、大石クトサン支流産卵床7カ所確認。クトサン支流堰堤の上に★1(70cm)。
13:10 見学者1名。
16:00 川村OUT。泊まり:大石

05/14 (木) 曇のち晴 ★★

06:00 気温10°C、水温4°C。
06:30 L11-L9★1移動、★1(目の錯覚?)。
06:42 L5左岸★1、右岸★1小バトル。
08:30 草島、山根IN。
10:30 山根、クトサン支流★1(堰堤上400m)。クトサン本流★1(支流合流点)。
13:00 気温11°C、水温6°C。L9上10m左岸★1。L14上9m右岸★1。
15:30 吉岡IN
16:30 草島、吉岡OUT。
17:30 気温8°C、水温6°C。

18:30 藤原IN。
19:00 藤原、山根OUT。泊まり:大石

05/15 (金) 曇 ★

06:10 気温10°C、水温5°C。L20下1m左岸★1。
09:30 L14上9m右岸★1。山根IN。来る前にクトサンをパトロールも発見0。
13:00 山菜取り1名。「ルアー釣りを時々やる」とのこと。
15:30 発見0。
16:30 気温9°C、水温6°C。兩岸パトロールも発見0。水位がかなり下がった。
18:00 山根OUT。泊まり:大石

05/16 (土) 曇 見学1組4名

06:10 気温11°C、水温5°C。発見0。
08:00 山根IN
08:30 草島IN
10:00 兩岸を川岸におりてパトロールも発見0。
10:15 見学者4名(家族)。
14:00 右岸発見0。
15:00 吉岡IN。
16:00 にごり入る。
16:00 草島、吉岡OUT。
16:10 左岸、発見0。
17:30 山根OUT。泊まり:大石

05/17 (日) 雨のち曇

13:00 ロープ、杭の撤去。大石IN、OUT。

05/18 (月) 晴

13:50 ハウスの撤去とパネルの撤去。テーブル、椅子、ストーブ、灯油タンクは吉岡の預かり。菅原組2名、ニセコファイン2名、吉岡、大石。

ひづけ	出動隊員数	見学者数	イトウ確認数 ★ オス ☆ メス
19	1		
20	3		★★
21	3		
22	2		★
23	3		★★
24	4	2	★★★★
25	2	2	★★
26	5	3	★★★★☆☆
27	5		★★★★☆☆
28	6	6	★
29	6	11	★★★★☆☆
30	3	2	★★☆
1	5	23	★★★★☆
2	6	5	★★★★☆
3	5	12	★★★★☆
4	5		★★★★☆
5	6	3	★★
6	6	12	★★
7	6	7	★★★★★
8	4	4	★★★★
9	7	12	★★
10	9	5	★★
11	6	3	★
12	4	1	★
13	2	1	
14	5		★★
15	2		★
16	4		
17	1		
18	2		
19			
20	10		

延出動数 138人・日
見学者数 114人・日
合計 252人・日

3季ぶりにイトウ人工授精に成功！ 未来は「明るいグレー」

2015年5月20日と31日、オビラメの会は飼育親魚の採卵会を開き、12年春に続き3季ぶりに人工授精に成功しました。



報告 玉井秀樹 オビラメの会

大阪から駆けつけたものの、天然の尻別イトウの産卵行動を目にすることがかなわなかった2日後の採卵日。飼育池の水を抜きながら網ですくったイトウたちは、ちょうど釣り頃サイズに育っていた。久しぶりに会った尻別のイトウたちは、しっかりエサがとれているようで、健康状態がいいように見える。今年は精子と卵は採れるだろうか。

池から次々にイトウを運び出して一時保管場所へ移動させていく一方で、川村先生が麻酔の準備を始める。そしてまずは1尾目。サイズを測り、川村先生がお腹をしごく。なんの変化もない。残念。2尾目。お腹をしごくとき精子がとれた。いいぞ、あとは卵だ！しかしその後は不発続きで、11尾目もだめだった。今年も無理なのだろうか。

飼育池の採卵会は一見過去と同じように見えるが、実は違う。昔、飼育池のイトウは野生魚の5尾（雄1尾、雌4尾）と少なかったため、4尾目でも卵が採れなかった時にはかなり重い空気が流れていた。しかし今ではそのイトウたちから得られた第2世代のイトウが親魚として飼育池にいるため、これがダメなら次、次もダメなら

またその次というのを20数回繰り返して、残りのイトウたちに希望を託すことができる。

やがて、お腹をしごかれたメスのお腹から、オレンジ色の卵がぼろぼろとこぼれ落ち、みんなから歓喜の声があがる。

今回の受精卵から孵化したイトウたちが、この夏またお目見えするだろう。尻別イトウの未来は、まだまだグレーだ。しかし、明るいグレー

に変わってきている。尻別川流域の地元の会員のみなさんをはじめ、道内外から活動に参加されている会員のみなさんやサポーターのみなさんのお陰だ（本当に、ありがとうございます）。

オビラメ30年計画のほぼ半分までやって来た。まだ先は長いですが、残りの15年でイトウに溢れ

No.	尾叉長(cm)	2015年5月採卵会成績
1	—	74.0
2	♂	73.0 5/20精子採取
3	♀	71.0
4	♂	76.0
5	♀	66.0
6	♀	68.0
7	♀	69.0
8	♂	61.0
9	♂	67.0 5/20精子採取
10	♂	79.0
11	♀	79.0
12	♀	65.0
13	♀	69.0
14	♀	77.0 5/20採卵成功(2700粒)
15	♀	67.0
16	♀	69.0
17	♀	76.0
18	♂	66.0
19	♂	66.0
20	♂	76.0
21	♂	78.0 5/31精子採取
22	♂	71.0
23	♀	78.0 5/31採卵成功(1500粒)
24	♂	64.0

るかつての尻別川を取り戻し、当初の予定通り2030年に目的を達成し、会を解散できることを切に願っている。

ニセコ有島記念公園を 尻別イトウの再生産拠点に

オビラメの会は今年度、ニセコ町と協働して、町内の有島記念公園を流れる第2カシュンベツ川（尻別川水系真狩川支流）のほとりに、新しいイトウ親魚飼育池（仮称「有島ポンド」）を建設する計画を進めています。

ニセコ町と協働で 「有島ポンド」建設

当会は現在、倶知安町内とニセコ町内に各1カ所ずつの飼育施設を確保して、オビラメ復活30年計画（2001年～2030年）にもとづき、尻別川固有の遺伝子を引き継ぐ人工孵化イトウ数千尾（稚魚～成魚）を系代飼育しています。野生捕獲個体（第1世代）から2003年～07年に人工孵化で得た多数の第2世代が、いまではそろって大型化。健康的に飼育するには従来施設だけでは手狭となってきたため、新たな飼育施設を建設すべく、ニセコ町と協働で準備を進めてきました。

このほど建設資金調達や管理運営面での課題克服に一定の目途が立ち、今夏の建設を目指すことになりました。当会は今年度、一般財団法人前田一步園財団（釧路市）より、ポンド建設費の助成を受けています。またニセコ町は今年度、有島記念公園でのイトウ飼育のた

めの餌料購入費・人件費として、30万円の補助金拠出を決めています。

作業ボランティア募り 「手づくり」で

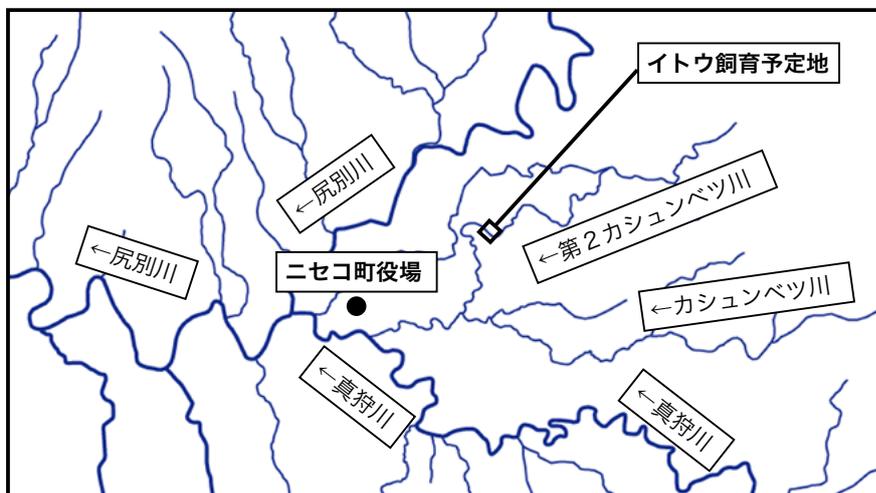
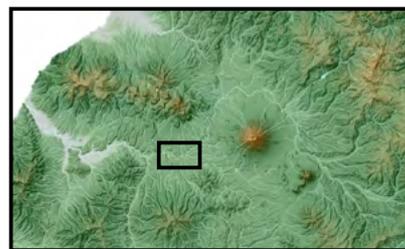
有島記念公園は、ニセコの中心部からほど近い面積約2ヘクタールの美しい農場公園です。大正期の文豪・有島武郎（1878～1923）とゆかり深い「有島農場」の跡地にあたり、一角には有島記念館があります。

新しい飼育池は、河川工事コンサルタントで、オビラメの会会員の岩瀬晴夫さんがデザインを担当しました。自然地形を巧みに利用し、河川敷を浅く掘り込んで川水の一部を導く構造で、1年を通じてポンプなしで必要流量を確保できます。建設工事は、会員などボランティアによ

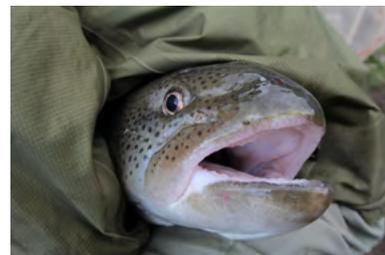
る人力中心の「手づくり方式」で取り組み、工期は3～5日間の見込みです。

アクセスのよい公園内で絶滅危惧種イトウの巨大な姿を間近に観察できるようになることから、地元のみならず、全国からニセコ町を訪れる大勢の観光客・修学旅行生のみなさんを対象にした環境教育拠点としての活用も構想しています。

また第2カシュンベツ川を、倶知安町（倶知安町）に続く第2の尻別イトウ繁殖地再生河川とすべく、まず絶滅要因の特定など、必要な調査活動を計画しています。



手厚いご支援を ありがとうございます



「尻別川の未来を考えるオビラメの会」の活動は、会員のみならず、会費と寄付金・助成金・補助金によって支えられています。ひごろのご理解とご支援に深く感謝を申し上げます。

※ ※ ※

一般財団法人セブン-イレブン記念財団（東京、山本憲司理事長）は、2015年度公募助成として、当会の「絶滅危惧種イトウ尻別川個体群の復元事業」に対し、現金47万5192円の助成を決定くださいました。同財団から当会への助成は、05年度（151万3795

円）、08年度（91万9100円）、11年度（55万7480円）、13年度（43万1392円）に続き、5度目です。

一般財団法人前田一步園財団（釧路市、前田三郎理事長）は、平成27年度自然環境保全活動助成金として、当会の「ニセコ・有島記念公園『尻別イトウポンド』建設事業」に対し、現金60万円の助成を決定くださいました。当会はこれまで、同財団が主宰する第30回（平成24年度）前田一步園賞（副賞20万円）を受賞しています。

しりべし獣医師会（倶知安町、木村周一会長）はこのほど、当会の活動に対し、現金3万円をご寄付くださいました。

また、会員で横浜市在住の大石剛司さんは、4月から5月にかけて尻別川に滞在して「見まもり隊」に参加したうえ、7万3000円をご寄付くださいました。

南限のイトウ=尻別川個体群の復元に向けて、大切に使用させていただきます。どうぞ引き続きサポートをお願いします。

「オビラメの会」は新入会を歓迎します

「尻別川の未来を考えるオビラメの会」は、会費と寄付金などで運営される非営利の市民団体です。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

年会費は2000円です。郵便局の振り込み用紙に住所、氏名、電話番号を明記のうえ、「入会希望」と書き添えて、右のゆうちょ銀行口座にお振り込み下さい（手数料はご負担願います）。会員期間はお振り込みいただいた日から年度末（5月）までです。おおむねひと月以内にニュースレターをお届けします。

■年会費 2000円
■ゆうちょ銀行
02720-9-11016
■加入者名「オビラメの会」

会員のみならず

2015年度の年会費納付時期を迎えています。同封の振込用紙をご利用ください。

WANTED

標識オビラメ見つけたら
☎ 0136-44-2472
オビラメ事務局マテ

オビラメの会ニュースレター 第45号(2015年6月発行)

OBIRAME Newsletter No.45 June 2015

- 発行 ■ 尻別川の未来を考えるオビラメの会
- 編集 ■ 平田剛士
- 印刷 ■ (株)須田製版(北海道滝川市栄町3-5-16)
- 発送 ■ 吉岡俊彦
- 口座 ■ ゆうちょ銀行 02720-9-11016 オビラメの会
- 事務局 ■ 北海道虻田郡ニセコ町富士見65 吉岡俊彦方
〒048-1501 TEL/FAX 0136-44-2472
<http://obirame.fan.coocan.jp/>
©2001-2015 Obirame Restoration Group

水と空気、みどりの大自然
ニセコが好きだ
楽しんだあとは川を語ろう

まぐる屋十割

ニセコ町富士見 65 TEL/FAX 0136-44-2472
Email / itou110@sa2.gyao.ne.jp